


令和7年9月 電子カルテ更新案内 (Ver: 3.25.29)

1. 患者付随情報欄のカーソル位置を変更できるようになりました

患者付随情報欄をクリックしたときに、入力画面のカーソル位置を備考欄にするか、クリックした項目にするか、オプションで選択できるようになりました。

<オプションの設定方法>

- ① 受付画面右上の  をクリック
- ② [保守] → [画面制御] → [カルテ関係] を選択
- ③ [付随情報フォーカス位置] (2列目の下から2番目) で [可変] を選択

[S] 付随情報フォーカス位置 ○ 備考固定 ● 可変



2. 病名確定後に手入力で変更した場合、正しくレセプトに反映されないことがある不具合が修正されました

病名の確定後に、病名欄に直接手入力で修飾語等を追加した場合、レセプトに反映されないことがありました。変更内容が正しくレセプトに反映されるように修正を行いました。

<不具合の出ていた操作手順>

- ① 確定後の病名欄をクリックして病名を反転させます。例) 咽頭炎

検索	主	病名	疑	難	指導	開始日
	<input type="checkbox"/>	咽頭炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		令和7年9月10日
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

- ② キーボードの  (ひだり) または  (みぎ) キーを押下して、反転を解除します。

検索	主	病名	疑	難	指導	開始日
	<input type="checkbox"/>	咽頭炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		令和7年9月10日
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

- ③ 修飾語等を入力します。例) 急性

検索	主	病名	疑	難	指導	開始日
	<input type="checkbox"/>	急性咽頭炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		令和7年9月10日
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

- ④  キーを押下して確定します。例) 急性咽頭炎

検索	主	病名	疑	難	指導	開始日
	<input type="checkbox"/>	急性咽頭炎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		令和7年9月10日
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

3. 身体所見欄の表示方法が改善されました

身体所見入力画面で項目値を入力する際、小数第1位の「0」を入力した場合、カルテにもその「0」が表示されるようになりました。

The image shows two parts of the system. On the left is the '身体所見入力' (Body Observation Input) screen. It has sections for 'バイタルサイン' (Vital Signs) with fields for blood pressure, pulse, and temperature (36.0 °C), and '身体記録' (Body Record) with fields for height (114.0 cm), weight (21.0 kg), and BMI (16.2). There are buttons for '削除' (Delete), '確定' (Confirm), and '閉じる' (Close). A red arrow points from this screen to the right, where a '身体所見' (Body Observation) summary box is shown. This box lists the entered values: 体温 36.0 °C, 身長 114.0 cm, 体重 21.0 kg, and BMI 16.2.

4. 内用液の表示方法が改善されました

内服薬として内用液を入力した場合、通常はカルテに「1日分」と表示されますが、点数マスタで「内服滴剤」にチェックを入れることで、「1回分」と表示されるようになりました。

<カルテ表示>

This screenshot shows a section of the medical chart titled '内服薬(外)' (Oral Medication (Out)). It lists '△ラキソペロン内用液0.75%' with a volume of '10 mL' and a frequency of '1日1回 10~15滴'. The frequency '1回' (1 time) is highlighted with a red box, indicating the improved display when the 'oral drop agent' option is selected in the master data.

<点数マスタ>

カルテの[保守] から[内服薬]を選択し、該当薬剤を選択または登録して「内服薬剤」にチェックを入れます。

This screenshot shows the '点数マスタ保守' (Point Master Maintenance) screen for '内服薬' (Oral Medication). On the left, a navigation pane shows '保守' (Maintenance) selected, with a red arrow pointing to the '内服薬' (Oral Medication) option under '行為区分選択' (Behavior Category Selection). The main area shows fields for '位置番号' (31), 'ヨミガナ' (ラキソペロナイヨウエキ0.75%), '正式名称' (ラキソペロン内用液0.75%), 'パレット表示名' (ラキソペロン内用液0.75%), '点数・薬価' (14.50), '麻薬区分' (dropdown), '後発品' (checkbox), '薬効コード' (2359), and '向精神薬コード' (dropdown). On the right, there are several checkboxes: '背反処理適用除外' (unchecked), '実日数をカウントする' (unchecked), '静採算定区分' (dropdown), '入力日を印字する' (unchecked), '一般名印刷指定' (unchecked), '経過措置処理済' (unchecked), and '内服滴剤' (checked, highlighted with a red box). At the bottom right, there are fields for '用法マスタ区分' (dropdown) and '起床時' (checkbox).

5. シェーマの文字設定が記憶されるようになりました

シェーマ文字入力時に、前回選択したフォント設定が自動的に引き継がれるようになりました。これにより、毎回フォントを再設定する手間が省け、入力作業がよりスムーズになります。

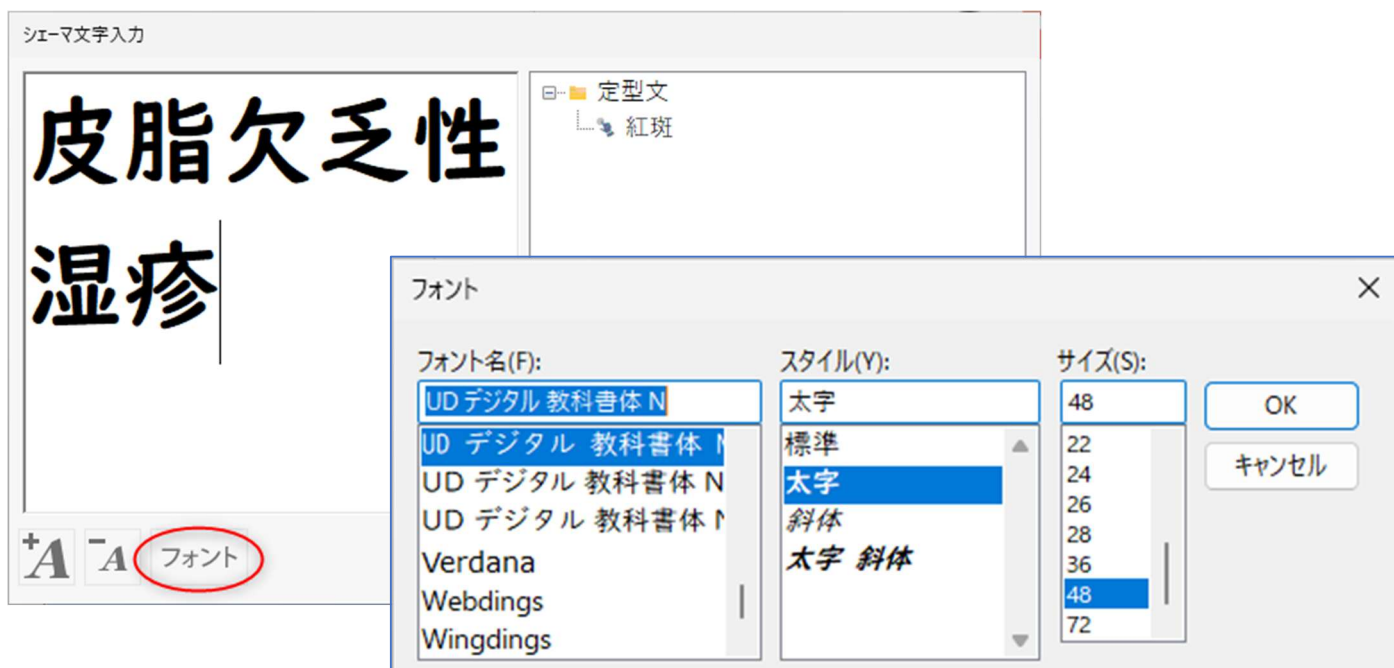
<引き継がれる内容>

- ・フォント名
- ・スタイル（例：太字、斜体など）
- ・サイズ（※指定可能サイズは 6～72 ポイント）

例 前回のシェーマ



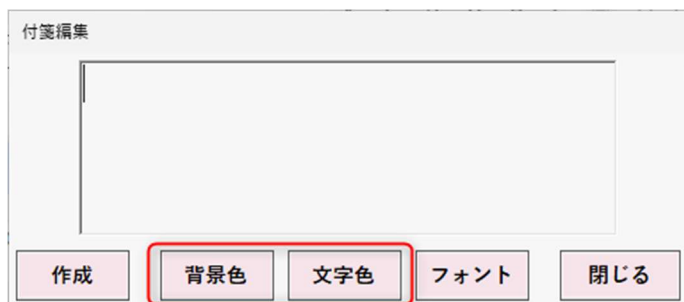
次回入力時に前回の文字設定が引き継がれます。



6. 付箋に背景色・文字色を追加できるようになりました

< 操作手順 >

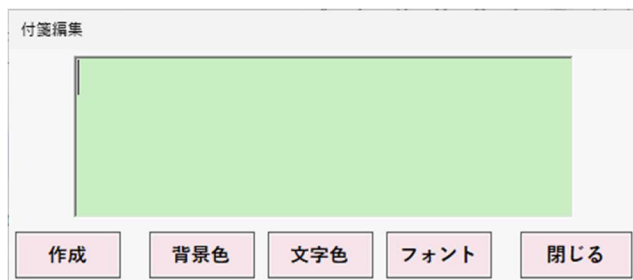
1. カルテの **付箋** ボタンをクリックして付箋を表示します。
2. **背景色** または **文字色** をクリックします。



3. (1) 「作成した色」欄から空白のカラーボックスをクリックします。
(2) 画面右側に表示されたカラーパレットをクリックして「色合い」と「鮮やかさ」を決めます。
※基本色の中に目的の色があるときは、基本色からクリックして(5)に進みます。
(3) 次に右端の「明るさ」を決めます。
(4) 「色 | 純色」ボックスの色を確認します。
(5) 「色の追加」をクリックします。
(6) 「OK」をクリックします。



4. 作成した色が表示されます。



7. 文書作成機能（Mk-II）で、入力中のカルテ内容が反映されるようになりました

文書作成機能（Mk-II）とは、カルテの「文書」ボタンをクリックした後に、Word や Excel を使用して文書を作成する機能です。

この機能において、カルテを登録する前でも、作成中のカルテ内容を文書作成に利用できるようになりました。
※本来は利用可能な仕様でしたが、過去の更新により一時的に利用できなくなっていました。

8. 検査結果（Mk-II）の表示仕様が変更されました

検査結果（Mk-II）の表示仕様に、検査結果形態の分離表示とコメント表示機能が追加されました。

従来は、検査値に「ミ」 「ジ ョウ」 「仂」などの文字を直接付加して結果形態を表していましたが、今回の変更により、

- ・「未満」「以下」「以上」「超過」「結果無」の結果形態
- ・「再検査済みです。」などのコメント

をそれぞれ項目として分けて表示できるようになり、表現のバリエーションが拡充されました。

※本機能のご利用には、検査会社様側での対応が必要です。